

いはらき

2018年(平成30年)

4月1日 発行

4

No.963

April 2018

◆編集・発行

茨城県 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
平成30年2月末現在
男 16,454人
女 16,417人
総人口 32,871人
世帯数 12,931世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の情報発信中!!



◆町公式ホームページ

<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



◆町公式ツイッター

<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



◆町公式Instagram

https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.68 ムラサキケマン

(キンボウゲ目ケシ科)

学名 *Corydalis incisa* (Thunb.) Pers.

写真・文 安 昌美

4月になると、多くの草木が芽をだし、花をつけます。今月は町内でも各地に見られ、雑草として抜き取られることのあつるムラサキケマンを紹介します。

▼ムラサキケマンとは

ケマン属に含まれる二年草で、全体が柔らかなです。しかし、有毒成分を含み、誤って食べると吐き気、呼吸困難などが起こると言われます。北海道から本州・四国・九州・沖縄に産し、国外では中国・台湾にも分布しています。茨城県内でも、全域に知られ、低地部の人家周辺にある林縁、台地斜面の下部、河川周辺など少し湿った所に生えています。

に生えています。町内では網掛、海老沢、大戸、上石崎、上雨ヶ谷、木部、近藤、城之内、常井、生井沢、南川又、宮ケ崎の記録が野帳にあります。花期は4月で、写真のような紅紫色の花を咲かせます。まれに花の先端部分に紅色が残りますが、全体が白色のシロヤブケマンがあります。旧小川町で見たことがあります。まだ茨城町では見られません。同属ですが、別種のジロボウエングサクがまれに宮ケ崎などに見られます。

▼ムラサキケマンの生活

花は春に咲き、ハナバチ類が受粉に関係し、果実はグリーンピース状

で、熟すと弾けて種子を放出します。種子は小さく、径約1.5mmで黒色です。この小さな種子には白色のエライオゾームと呼ばれる、アリの好きな物質が付いています。ですから、種子の散布は自分で弾き飛ばすと同時にアリにも運んでもらっています。1年でどれだけ広がるのでしょうか。種子は翌年の春に発芽するそうです。その年はあまり大きくならず冬を越し、春に花を付ける茎を伸ばし開花・結実をし、枯れていきます。ムラサキケマンの現在の分布域を考えますと、どれだけの時間が必要だったのでしょうか。



ちびっ子アート 長岡幼稚園



「うれしいひなまつり」
ほった とあ(6歳)



「おだいりさまとおひなさま」
なかざわ あきら(6歳)

